

# 朝霞市議会全員協議会

日時 令和8年6月26日（金）午前10時5分開会  
場所 全員協議会室  
事件

- (1) 市庁舎長寿命化改修工事の入札不調に伴う今後の対応について＋市長報告（中央公民館・コミュニティセンター長寿命化改修工事の工期延長等について）

## 出席議員（23名）

|     |     |     |    |     |     |     |    |
|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|----|
| 1番  | 黒川  | 滋   | 議員 | 2番  | 本田  | 麻希子 | 議員 |
| 3番  | 外山  | 麻貴  | 議員 | 4番  | 石川  | 啓子  | 議員 |
| 5番  | 田辺  | 淳   | 議員 | 6番  | 遠藤  | 光博  | 議員 |
| 7番  | 宮林  | 智美  | 議員 | 8番  | 駒牧  | 容子  | 議員 |
| 9番  | 飯倉  | 一樹  | 議員 | 10番 | 西   | 明   | 議員 |
| 11番 | 高堀  | 亮太郎 | 議員 | 12番 | 増田  | ともみ | 議員 |
| 13番 | 陶山  | 憲雅  | 議員 | 14番 | 獅子倉 | 晴樹  | 議員 |
| 15番 | 利根川 | 仁志  | 議員 | 16番 | 岡崎  | 和広  | 議員 |
| 17番 | 渡部  | 竜二  | 議員 | 18番 | 兼本  | 尚昌  | 議員 |
| 19番 | 田原  | 亮   | 議員 | 21番 | 福川  | 鷹子  | 議員 |
| 22番 | 野本  | 一幸  | 議員 | 23番 | 石原  | 茂   | 議員 |
| 24番 | ごん  | 純一  | 議員 |     |     |     |    |

## 欠席議員（なし）

## 説明のため出席した者の職氏名

|       |                         |      |              |
|-------|-------------------------|------|--------------|
| 松下昌代  | 市長                      | 宇野康幸 | 副市長          |
| 二見隆久  | 教育長                     | 又賀俊一 | 市長公室長        |
| 濱浩一   | 総務部長                    | 金子智之 | 市民環境部長       |
| 福士昌三  | 学校教育部長                  | 堀川政昭 | 生涯学習部長       |
| 中谷博司  | 総務部次長                   | 関口豊樹 | 学校教育部次長      |
| 榎本智砂子 | 財政課長                    | 長谷川猛 | 政策企画課主幹      |
| 大瀧一彦  | 中央公民館長                  | 金井哲也 | 財政管理課長<br>補佐 |
| 村山雅一  | 中央公民館長<br>補佐            | 佐賀伸也 | 教育総務課長<br>補佐 |
| 村沢敏美  | ファシリティ<br>マネジメン<br>推進室長 |      |              |

## 会議に出席した事務局職員

|   |   |   |   |           |   |   |   |   |             |
|---|---|---|---|-----------|---|---|---|---|-------------|
| 森 | 田 | 一 | 広 | 事 務 局 長   | 松 | 原 | 陽 | 子 | 議 会 総 務 課 長 |
| 菊 | 島 | 隆 | 一 | 議 事 係 長   | 柴 | 沼 | 勇 | 太 | 議 事 係 主 任   |
| 熊 | 谷 | 祐 | 樹 | 議 事 係 主 任 |   |   |   |   |             |

---

○野本一幸議長 ただいまから全員協議会を開きます。

(午前10時5分)

---

○野本一幸議長 初めに、市長から御挨拶をお願いします。

市長。

○松下昌代市長 本日は、市議会閉会後のお疲れのところ、全員協議会を開催していただきまして、誠にありがとうございます。

本日の議題は、市庁舎長寿命化改修工事の入札不調に伴う今後の対応についてでございます。

担当から御説明申し上げますのでよろしくお願いいたします。

---

○野本一幸議長 市長公室長。

○又賀俊一市長公室長 それでは、市庁舎長寿命化改修工事の入札不調に伴う今後の対応について御説明申し上げます。

初めに大きな1番、市庁舎長寿命化改修工事の入札不調の対応について説明いたします。

(1)入札不調の主要因について。

入札不調に終わった背景を財産管理課が調査した結果、次の実情が明らかになりました。

まず一つ目として、①の部分ですけれども、中東情勢の緊迫化及び長期化のあおりを受け、原油由来の建築材料、特に屋上改修に使用する防水材や外壁改修等に使用する塗装材料などの流通において、入荷の先行きが不透明な状況であること。

二つ目として、②の部分ですけれども、原材料費や物流コストの高騰が収まる兆しが見えず、事業者が将来的なコスト変動リスクを抱え、採算性の確保を見通すことが難しい状態であること。これらの要因が重なり、事業者が適正な工期での施工や採算性の確保を見通すことが困難となり、結果として応札をちゅうちょせざるを得なかったと考えられます。

市といたしましては、このまま設計条件を据え置いた上で再入札をし工事契約に至ったとしても、建築資材の流通の滞りによりいたずらに工期が延び、結果として経費がさらに負担が増すといった重大なリスクをはらんでいると捉え、大切な財源を効率的かつ安全に執行する観点から今後の対応を決定いたしました。

続きまして、(2)市としての対応について。

一つ目、①市庁舎長寿命化改修工事を一旦見送りとします。市庁舎の長寿命化改修工事については、まず、工期延長に伴う諸経費の負担増が考えられること、また、原油由来の建築資材の一時的な価格高騰の影響を受けること、さらに、設計条件を据置きのまま再入札してもさらなる不調のリスクが想定されます。

これらの理由から一旦発注を見送り、中東情勢をはじめとする国際情勢の動向を注視することとします。

二つ目として、②優先度の高い改修項目は切り分けて発注を検討します。市庁舎の機能維持や安全確保の観点から、優先度が高く改修が必要な一部の工事につきましては全体計画から切り離し、建築資材の供給状況を考慮しながら、市庁舎の行政機能を維持するための部分的な切り分け発注を実施してまいります。

続きまして、大きな2番、中央公民館・コミュニティセンター長寿命化改修工事の工期延長等の対応についてです。

まず(1)スライド条項による請負代金額変更請求についてです。

朝霞市建設工事請負契約約款第26条第6項に規定するスライド条項により、請負代金の額の変更の協議が令和8年6月5日に書面により提出されました。当初請負金額は10億1,046万、税込みになりますけれども、に対して事業者より、増額分である概算請求額は、こちらも税込みで8,974万2,821円として提出がありました。

なお、金額については、今後、発注者である市においてスライド変更による増額金額を算出した後、受注者と協議を行い決定します。

次に、(2)工期延長申請についてです。

中東情勢の影響を受け、建築資材、特にアスファルト防水材の納入が遅れており、当初契約工期内での完成が難しくなったことから、相手方より令和8年6月19日に工期延長申請が提出されました。当初工期の令和7年10月1日から令和8年11月30日までに對し、工期延長期限は令和9年3月31日までとし、121日間の延長となります。

なお、この延長期限につきましては、現在も工事完了時期の見通しが立たないために、一旦、年度内いっぱいとして提出されたものとなっております。

次に、(3)今後の対応についてです。

スライド条項による増額分及び工期延長に伴う諸経費増額分については補正予算を計上する予定でございます。また、契約変更に際しては議案を上程する予定でございます。

最後に大きな3番、建物系個別施設計画の対応についてです。

(1)建物系個別施設計画に位置づけられるスケジュールを全体的にスライドさせることについて。

今回の状況は、市庁舎長寿命化改修工事や中央公民館・コミュニティセンター長寿命化改修工事だけにとどまる問題ではないと認識しております。つきましては、中東情勢に伴う建築資材の影響を受けると想定される建物系公共施設マネジメント実施計画及び学校施設長寿命化計画については、先述したリスクを回避するため、これら計画の今年度予定していた他施設の設計等の業務も併せて後ろにスライドさせます。そのことに伴い、両計画に位置づけられるスケジュールに関しても全体的に後ろにスライドすることとなります。

次に、(2)今後の対応についてですが、市庁舎と同じく他施設につきましても、機能維持や安全確保の観点から改修が必須となる改修項目は切り分けて工事を実施します。また、その他の大規模な改修工事等について状況を鑑み検討してまいります。

今後につきましては、国際情勢の動向を注視し、安定した段階で適切な発注等ができるように、国の動向や市場調査を継続して実施してまいります。今回の判断は、予測困難な国際情勢の急変に対応し、市財政への二次被害や工事の長期停滞という最悪のシナリオを避けるための選択でございます。繰り返しになりますが、延期となる各施設につきましては、安全管理に万全を期しつつ、情勢が安定した段階で速やかに適切な発注へとかじを切れるよう、引き続き市場調査と準備を進めてまいります。

説明については以上でございます。

○野本一幸議長 先ほど私ちょっと飛ばしてしまったのですが、先日の市長報告について田辺議員から要求がありました中央公民館、コミュニティセンター長寿命化改修工事の工

期延長等についてもこれを一緒にやりますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは、ただいま説明がありましたが、何か御質問ありますか。

兼本議員。

○兼本尚昌議員 ありがとうございます。

市庁舎長寿命化改修工事についてお伺ひいたします。

優先度の高い改修項目については切り分けて工事を実施することなのですから、今予想される改修項目等が分かれば教えてください。

○野本一幸議長 総務部次長。

○中谷博司総務部次長 切り分けて行う工事項目につきましては現在検討中ではございますが、現時点で優先度が高い……、中東情勢の影響を受けることから……

○野本一幸議長 ちょっと何かマイクの調子が悪いみたいです。ちょっとお待ちくださいね。

それでは答弁。

総務部長。

○濱浩一総務部長 新庁舎の機能回復、あと機能向上の観点から考えておりますが、いずれにしても建築資材の価格高騰の影響も受けていますので、また、供給状況の滞りというのがございます。この辺の影響を受けやすい工事なのかどうかという点も踏まえて、トイレの改修だとかその辺を中心に今検討しているところでございます。

以上です。

○野本一幸議長 飯倉議員。

○飯倉一樹議員 今、優先度高いところについてはされるということなのですが、多分難しい話で、優先度が高いのはこちら側の都合であって、応札される側の業者さんとしても、いや、確かにそこは必要かもしれない、その部品すら入ってこないという可能性はやはり往々にして考えなければいけないのかなと思ひますが、そこについて、もちろん内容をこちらで精査することは大事なのですが、入札にに応じていただけるためにこちらとしてはどのようなことを想定されているかちょっとお伺ひします。

○野本一幸議長 総務部長。

○濱浩一総務部長 今までの状況とやはり違いますので、見積りをいただく段階でもその辺の供給状況が、そもそも施工可能なかどうかという点を十分調査した上で工事のほうを決めていきたいと考えております。

以上です。

○野本一幸議長 飯倉議員。

○飯倉一樹議員 はい、分かりました。

次に、中央公民館のほうもこのスライド条項で、結局その時点ではこの金額で仮に札が落ちたとしても当然上ってしまうということも考えると、ちょっと、今のかなり見通せない状況の中でこうやってお話しするのもかなり恐縮なところもあると思ひますが、やはりそのときの金額で仮に応札があったとしても、これ、中央公民館やコミュニティセンターみたいな感じに、いざ工事になります、終わりませんでしたみたいなことも想定しなければいけないなど。かなり余裕を持ったスケジュールであつたり余裕を持った予算規模感というものをやはり想定しなければいけないかなと思ひますが、そこについては今どのようなことを検討されているでしょうか。

○野本一幸議長 答弁願います。

総務部次長。

○中谷博司総務部次長 切り分け工事の検討を行うに際しましては、今お話がありましたように、予算の余裕であったり工期の余裕を検討した上で進めていきたいと考えております。

○野本一幸議長 西議員。

○西明議員 3番の学校施設なのですけれども、今後の対応で、1番と同じように改修が必須となる改修項目切り分けてということなのですけれども、結構、その学校施設が、長寿命化計画が何年か前に始まってから大きな改築が、素人目線だとちょっと後回しで、まず、まだ築年数たっていないけれども改修が必要な、要は計画に基づいてやろうとしてしまうと、築年数20年で改修、50年で改築とかあるではないですか。改修が必須となる改修項目をやるとなると、結局また大規模な改築が必要な学校はそのまま、どのように児童生徒へ影響があらうがスライドで後回しにされてしまうのか。例えばその影響だったりなどの考え方、どのように考えていらっしゃるかお伺いします。

○野本一幸議長 副市長。

○宇野康幸副市長 スライドというのは現時点ではまず当面1年ということです。では、1年後大丈夫かという話ではなくて、今の状況だと、発注することによって、先ほど言ったスライド条項の影響を受けてしまったりとか工期の延長になっていたずらに経費がかさんでしまおう、そういった状況が収まった段階までスライドという意味でございますので、やらなくなるとかそういった意味ではないです。

必須の項目については、分かりやすく言えば、例えばエアコンの改修であるとか、そもそもその施設の機能維持が危うくなるようなものですね、もちろん季節もありますが、エアコンの改修とかそういったものは切り分けて発注する。ただ、それもやはり状況によっては納品が遅れるとかそういうことも想定されますので、そこはしっかりと業者さんとヒアリングをしながら、適切な価格と適切な工期設定をしていきたいというふうに考えております。

○野本一幸議長 西議員。

○西明議員 今、学校施設長寿命化計画で、三中だったか、すみません、ちょっと今手元に、いつも持ち歩いているのにないのですけれども、二中は令和17年完成予定の改築なのですね。その前に改修工事がほかのところがあるのですよ。それが結局、そのまんま一緒に後ろ倒しになるのか。例えば、でも、例えば二中などは本当にもう古くて、保護者として中に入ってもちょっと本当に雰囲気暗くて、早くきれいにしてほしいなという思い、そのころ娘は卒業していると思いますけれども、だから、そこがもう、例えばその改修・改築の今ある計画と一緒にスライドする、もううなずかれてしまっているから答弁あれですけれども。

例えば中東情勢だったりとかで長引きそうになったときに、それでちゃんと答弁はいただくと思いますけれども、長引きそうになったときに、本当にもうそのまんまスライドでいいのか。例えば、まだ改修で済む段階の改修のほうの財源をちゃんと改築のほうにとかそういう、要は、もうあの計画自体はそのままもう何もなく一緒にスライドするという考えは、今後の情勢によって変わったりはしないですか。

○野本一幸議長 副市長。

○宇野康幸副市長 スライドするという考えは変わりません。

例えば、1年、2年ずれたとして、その2年後に始まるものと重ねて始まるということは、

もう当然検討したのですけれども、それとやはり予算的な問題であるとか、そもそものその人的なマンパワーの問題とかありますので、基本的には1年ずれたら1年先になる計画も1年ずれるというような形でスライドを当面は考えていきたいというふうに考えています。

○野本一幸議長 西議員。

○西明議員 では、最後です。

私も聞き方難しくて。要は、もう計画どおりにスライドで、例えば改修を逆に後回しにして改築は予定どおりにするとかそういう考えは特になく計画どおりいくということによろしいですかね。

○野本一幸議長 副市長。

○宇野康幸副市長 はい。計画で、市民の、議会の皆様とか市民の皆様にもお示ししておりますので、そこについては今のところ変える予定はないのですけれども、ただ、FM推進室ができてきて今つくっていますので、そういった観点からの変更というのは今後出てる可能性についてはあります。

○野本一幸議長 飯倉議員。

○飯倉一樹議員 はい、すみません。2番のほうにいきます。中央公民館・コミュニティセンター長寿命化改修工事の工期延長で、これ半年間単純に後ろ倒しになると、利用再開見込んでいた各種利用団体さんに対する告知と、あとはほかの施設のところで代替ですよ。今は多分東公民館や南公民館に行ってくださいと思っていますけれども、そことの兼ね合い。向こうもたしか工事抱えていたものがもしかしてあったと記憶していたと思うので、閉館が延びることによって市民の皆さんに与える状況というのを周知状況と対応の検討状況を伺います。

○野本一幸議長 中央公民館長。

○大瀧一彦中央公民館長 お答えします。

まず周知につきましては、6月23日付で公民館の登録団体の代表者に通知をしております。また、同日、ホームページやSNSで広く市民に周知を行っております。

また、代替場所の確保につきましては、現在、東朝霞公民館と南朝霞公民館の休館日を開館してやっておりますのでこれを継続して対応したいと思います。それから、図書館本館視聴覚室についても御利用いただけるように確保しております。

以上でございます。

○野本一幸議長 飯倉議員。

○飯倉一樹議員 はい、分かりました。

あと、ちょっと、今暫定的な話で、あくまで3月31日ということですが、考えたくはないですけど、やはりこれも延びてしまったら同様の対応を、措置を延長せざるを得ない。工期が終わるまでしなければいけないという認識なのか伺います。

○野本一幸議長 生涯学習部長。

○堀川政昭生涯学習部長 工期、一応今年度中ということで延期の届出をいただいていますので今年度中に完了することが当然望ましいのですけれども先行きは不透明です。

その中で、また、その東朝霞公民館、南朝霞公民館を、休館日をなくして開館しているのですけれども、それを継続するかについては、また今後検討していきたいと考えております。

○野本一幸議長 飯倉議員。

○飯倉一樹議員 はい、分かりました。

先ほど、西議員からありました建物系個別施設計画のほうなのですが、多分計画自体がスライドするということなのですが、そうなってくると中期財政計画のほうの話もまた変わってくるのかなと思われませんが、これ付随する計画、中期財政計画もそうですけれども、この財政に関わってくるものであったりとか計画に与える状況、ここにはないもので今どういったものを想定されているのか伺います。

○野本一幸議長 総務部長。

○濱浩一総務部長 当面は、毎年、毎年度予算編成に合わせて中期財政計画のほうも見直しをかけることにしておりますので、今回先送りするものと、あと来年以降の実施予定で、財政計画のほうに予定していたもの、その辺をそのときの状況に合わせて、まだ実施時期が未定ということであれば中期財政計画、次期更新のときには盛り込まないという予定で考えております。

以上です。

○野本一幸議長 飯倉議員。

○飯倉一樹議員 はい、分かりました。

未定のものでございますけれども、今、中期財政計画見えていますけれども、結構、今、施設系の工事の予算、例えば令和10年度はこれ、割と大型事業の積算ということで入れられていると思うので、これも本当に、ちょっと状況によってはかなり書き換えなければいけないなというところがあるし、書き換えざるを得ないのはしょうがないし、そうしたら適宜公表されていくという認識でよろしいか伺います。

○野本一幸議長 総務部長。

○濱浩一総務部長 地域財政計画のほう、更新かければまた公表のほうはその都度やっていく予定であります。

以上です。

○飯倉一樹議員 分かりました。大丈夫です。

○野本一幸議長 黒川議員。

○黒川滋議員 今の中期財政計画との兼ね合いなのですが、本来中期財政計画というのは5年とか10年後どうなっているかというところから逆算していくものなので、今回工事がなかったら、では、浮いたから何か使ってしまうというのを毎年更新やったらそういうことでできてしまうわけですね。結果として、後で工事を発注しなければいけないときにお金がなかったみたいなことが起きやしないかということで、今回工事を延ばすにあたって浮いたお金はどういうふうに管理するのかということをお伺いしたいと思います。

○野本一幸議長 総務部長。

○濱浩一総務部長 まず今年度、令和8年度に財源として予定していた一般財源の分ですとかマネジメント基金からの繰入れ、そういったものについては9月補正の時点で事業費の減額ですとかマネジメント基金の繰入れ予定だったものをまた積立てをするだとか戻すということで補正をまず考えているところです。

今後についても、そういった財源についてはいずれにしても必要になってくるもので、それは極力残していきたいなという考えではあります。

以上です。



○野本一幸議長 黒川議員。

○黒川滋議員 確認しますけれども、依存財源ではないもので本来建物に使うはずだったお金というのは、これはマネジメント基金にそっくり残して、延ばしたときにそれが取り崩して使えるようにするという理解でよろしいですね。

○野本一幸議長 総務部長。

○濱浩一総務部長 基本的にはその考えなのですが、また、先ほど申し上げましたように、切り分けして前倒し実施しないといけないようなそういったものもございますので、そういったものをやる時には、適宜それは使っていくという考えでおります。

以上です。

○野本一幸議長 黒川議員。

○黒川滋議員 それからあと、中央公民館・コミュニティセンターの長寿命化のこの増額8,974万2,812円、これの内訳というのは、例えば人件費が何ぼでとか資材価格の高騰分が何ぼでとかそういうのは出ているのでしょうか。

○野本一幸議長 総務部次長。

○中谷博司総務部次長 そちらの金額につきましては、現在、施工者のほうから求められている金額でして、その細かい内訳まではいただいております。

○野本一幸議長 黒川議員。

○黒川滋議員 これ、今後査定してどうするかというのがある程度まとまったら、これは議会に報告してくださるのでしょうか。

○野本一幸議長 副市長。

○宇野康幸副市長 契約約款26条第6項のインフレスライド条項につきましては、市の運用基準、一応定めております。その中で、相手方と協議を、要するに、金額が主なものになってきますけれども、金額の中身について一応精査、いわゆる協議ですね、する形になります。現在のところ、その協議が整なう日程を仮に組んでおりますけれども、一応9月10日までには協議、金額の内訳等も含めて金額のほうを整えたいというふうに思っておりますので、現時点では9月の追加議案という形で補正予算と変更契約の締結の議案のほうを予定しているところでございます。

以上です。

○野本一幸議長 黒川議員。

○黒川滋議員 これ1億円で仕事を受けて、それも3年前、4年前ではなくて最近受けて、それで1億9,000万円払ってなのでは倍だと思うのですよね。何が倍になっているのかと。人件費なのか資材なのかそれが分からないと、こっちとしても、いいですよという話にはならないと思うのですね。工期が延びることは自体はしょうがないとは思っていても、それがどういった要因なのかということはやはりちょっとかいつまんで、いきなり議案として出てきて、これ賛成しろという形ではなくて、その説明はちゃんと要るのではないかなと思っております。それをお願いいたします。

それから3点目なのですが、これ、第三中学校が大規模修繕と少人数化対策ということで合わせ技で多分考えていたのだと思うのですが、少人数化対策のほうは大丈夫なのでしょうか。

○野本一幸議長 学校教育部次長。

○関口豊樹学校教育部次長 35人学級のことでよろしいですか。

そちらにつきましては個別に予算要求をしておりますので、大規模改修とは別に予定をしております。

以上です。

○野本一幸議長 黒川議員。

○黒川滋議員 それまた、二度手間工事にはならないで済むということなのですか。

○野本一幸議長 学校教育部次長。

○関口豊樹学校教育部次長 基本的に校舎の中と外壁等の外側のことかと思いますので、切り分けは可能と考えてございます。

○野本一幸議長 利根川議員。

○利根川仁志議員 まず市役所の長寿命化、これを一旦見送るということなのですけれども、もちろん財政的な今後の状況もあるのですけれども、これまでも耐震をやり、二十数億円かけてまた長寿命化をやる。いずれにしてももう建て直さなければならない時期が来ると思うので、一旦見送りということも分かる話ですけれども、新庁舎の移行ということもこれは考えていかなければいけないのかなと思うのですけれども、その辺についてはいかがですか。

○野本一幸議長 副市長。

○宇野康幸副市長 建物にはどうしても寿命というのが、計算上の寿命になるのか構造によつての寿命なのか、一応80年というところで市のほうは定めておりますので、当然、それ来る前には市庁舎の新しい建築というのを当然検討しなくてはならない。ただ課題がやはり多くありまして、現時点での基地跡地の利用という形になりますと、皆様御存じのとおり国の土地でございますので、まずそれを買うのには多額の資金が要するという形になりますので、そういったことが今課題と捉えておりますが、すみません、前に、今そういった検討をスタートさせておりますので、そういったものも議員の皆様には、順次、報告できる段階になりましたら報告しながらやっていきたいというふうに思いますが、ただ、やはり課題が多くあるということだけはちょっと申し上げたいというふうに思っています。

○野本一幸議長 利根川議員。

○利根川仁志議員 その点は分かりました。

中央公民館のほうのこの概算請求の増額分、これ約4か月延びるということでこの8,900万円、この増額でもう済むということはちょっと考えづらいとは思いますが、この増額よりまたさらに上回るという予想というのはしているのでしょうか。

○野本一幸議長 副市長。

○宇野康幸副市長 仮に3月までに工事がもし終わらないということになれば、それは諸経費が増えますので、それについては増額の必要が、可能性としてはあります。ただ、スライドにつきましては、どの時点での価格というのを相手として協議してまいりますので、どこかで時点決めませんと延々となってしまいますので、それについては、先ほどの運用基準の中でその基準となる時点を整理してやりますので、物価上昇についてはその時点で計算していくという形になります。

○野本一幸議長 利根川議員。

○利根川仁志議員 分かりました。

建物系の個別の設計の計画で、もちろん学校だとかその他の施設、具体的にどこの施設で

どこの学校なのかちょっと教えてもらっていいですか。

(何事か呼ぶ者あり)

○利根川仁志議員 個別でその他とあると思うので、その他の計画、それを後ろにスライドさせる。その他とは具体的にどことどことどこなのということ。

○野本一幸議長 ファシリティマネジメント推進室長。

○村沢敏美ファシリティマネジメント推進室長 建物系公共施設マネジメント計画に位置づけられております今年度実施しようとしていたほかのものなのですが、溝沼複合施設の設計業務委託、総合福祉センターの設計業務委託、朝霞中央公園野球場の調査業務の3点でございます。

○野本一幸議長 本田議員。

○本田麻希子議員 まず1点目、市庁舎長寿命化改修工事、そのほかの工事も関係してくるかもしれませんがけれども、今切り分けて工事、緊急にするべきところはあるということで、そうすると、一回設計を行っていただけますけれどもその設計をもう一回し直すということもあり得るのかどうかという点をお聞きします。

○野本一幸議長 答弁願います。

総務部次長。

○中谷博司総務部次長 庁舎長寿命化改修工事につきましては、全体として一旦設計が終わっていますので、そこから切り分けて工事を行う場合は、その終了している設計図を基に、そこだけ抽出できるような作業をして行っていきたいと考えております。

○野本一幸議長 本田議員。

○本田麻希子議員 次に、中央公民館のほうなのですが、工期が延びるということなのですが、資材は来ないでも人はいるという場合に、その人員を確保するためにお金を払わなければいけないとかということで、この増額分以外の何か補償料みたいなものを払わなければいけない可能性というのは出てくるのかどうかということを伺います。

○野本一幸議長 総務部次長。

○中谷博司総務部次長 中央公民館改修工事における工期延長に伴う工事費の増額につきましては、その工期が延びる分の現場経費、諸経費等を今かかるというふうに考えておりまして、そこに具体的に、本来、その間工事すべき、するはずであった人員、職人さん等の人件費等は含まれておりません。

○野本一幸議長 本田議員。

○本田麻希子議員 つまり、ここに示されている金額には人件費等が入っていないということなのですが、後でそういうものが請求が来るということはないということでもいいのですか。もうこれだけ払えば工期延長で3月まで行けるということでもいいのですかね。

○野本一幸議長 答弁願います。

副市長。

○宇野康幸副市長 資料でお示ししている8,974万2,821円税込みにつきましては、これは業者からスライド条項、出てきた金額ですから、工期延長に伴う経費等についてはこれから積算して9月で、スライド条項と合わせて、その分も合わせて別途追加で補正予算を計上させていただくという形で考えております。ここに出ているのはあくまでスライド条項に業者さんが乗せてきた、工期延長についてのものではないというところです。

○野本一幸議長 本田議員。

○本田麻希子議員 それから、3点目の建物系個別施設計画の対応についてということで、建物系個別施設計画に位置づけられるスケジュールを全体的に後ろにスライドさせるということなのですけれども、逆に建物系の公共施設の計画ではないものもありますよね、公園であるとか、水道とかはまた別問題だとは思いますが、そういう計画はスライドさせることなく進めるということによろしいのですか。

○野本一幸議長 副市長。

○宇野康幸副市長 現在のところ、土木系、建築系が主に入札不調とか起こっておりまして、土木系は今のところ不調等は朝霞市では起こっておりませんので、現時点ではインフラ系の計画につきましては計画どおり進めるという考えでおります。ただ、今後のまた情勢の変化によってそういった事態が起これば、その時点で何らかの対応をしないといけないのかなと思っていますけれども、現時点では計画どおり進めるという形で考えております。

○野本一幸議長 本田議員。

○本田麻希子議員 例えば北朝霞駅西口ロータリーの改修なども計画されていますけれども、市民からすれば、日常の市民の活動に関係する中央公民館の工事は進まない、学校の改修・改築は後ろに遅らされる、それなのに、そういう生活に直結はしない工事だけはどんどん進んでいるということになりはしないのかなということで、もちろん、計画した以上は進められるものは進めるということなのだけれども、その順番というのはやはり市民生活優先で考えなければいけないのではないかなと思うのですけれども、それは検討しないで、もうインフラ系はどんどん進めるということなのですかね。

○野本一幸議長 副市長。

○宇野康幸副市長 駅前広場につきましては、既に事業に着手、議会等の御審議いただいた上で予算に計上して進めております。そういったものにつきましては、入札不調とかそういったものが現在起きておりませんのでそれは計画どおり進めていくという考えでございます。

○野本一幸議長 本田議員。

○本田麻希子議員 あと、先ほどこの建物系の個別施設計画は全体的に後ろにスライドさせるということだったのだけれども、ちょっと先ほどの答弁で、この計画自体も少し直すところがあるかもしれないみたいな話があったのですよね。直す前は、やはり今まできちんと庁内、私も本当は外から有識者も入れるべきだ、市民を入れるべきだとは考えていますけれども、少なくとも何らかの会議体で、市民に情報が出る形で検討し直しをするということによろしいですかね。いきなり計画だけいじって、直しましたという情報だけ出てくるのでは、やはり、先ほども言ったように学校を遅らせるとかほかの施設も、総合福祉センターとか溝沼の複合施設なども遅らされたり順番入れ替えられてしまったら、やはり、どうしてなんだという話出てくると思うのですよね。その検討し直しの過程についてはきちんと公開されるということによろしいですか。

○野本一幸議長 副市長。

○宇野康幸副市長 FM・ファシリティマネジメント推進室を設置しておりまして、建物の複合化であるとか廃止であるとかそういったものを検討してまいりますので、そういったことを検討する場合には市民の方とか議員の皆様とかのお話を聞いて当然進めるという形で考えておりますので、そういった情報についてはしっかりと提供して御意見も伺ってまいりたい

というふうに考えております。

○野本一幸議長 ごん議員。

○ごん純一議員 ちょっと長いかもしれませんが付き合ってください。

RCはもう100年もつというからもう今の時代躯体は使い倒していくしかしようがないのかなと思っています。

今回配られた紙の項目3番のラストに、国際情勢の動向を注視し安定した段階で適切な発注等ができるように、国の動向や市場調査を継続して実施するとありますけれども、そもそも疑問なのが国際情勢安定しますかね。ウクライナとロシアは延々、鉄と半導体のぶつけやっていますし中東が安定していたことなどありませんし、そもそも円が安定していませんし、どうも僕、業者さんとかから話聞くと、ナフサの不足は業者の買い込みが原因ではないかと思っています。あながち、政府が言う、ナフサが不足しているわけではないというのは、そこまで信憑性のない話でもないかなと思います。

この中央公民館の増額が8,974万2,821円、スライド条項なのでしようがないかもしれませんが、工期が121日も延びてそれだけで済むかやはり疑問ですね。でも、今の段階で正式な数字を出すなんて神様でもない無理だと思うので、そこはもうしようがないと思います。

これも今回の全員協議会で全体的にまずは優先度が高い工事から切り分けるとありますけれども、例えば雨漏りを先、外壁と屋上防水は優先ですよ。この場合、屋上防水を先にしたこと、結局、後の工事、屋上防水の穴開けてやり直しになるとかあるわけではないですか。また、この切り分けで絶対にやっていけないことはないのかというと、足場は絶対に1回で終わらせなければいけないと思うのですよ。後回しの工事で足場が必要になってまた足場立てるなんて、もうばかみたいにお金かかってしまいますから。だから、まずはこの切り分けの優先度、足場絡みをしっかりと潰しているのかどうか伺います。

○野本一幸議長 答弁願います。

総務部次長。

○中谷博司総務部次長 中央公民館の改修工事におきましては、今後増額になる予算が、金額が二つありまして、スライド条項は今までの物価上昇に関わる分ということで八千何百万円という請求が来ています。それとは別に工期延長に伴う経費の増額というのはまた別に出てくる金額になります。

足場につきましては、現在、現場の足場、外部足場組んでおりまして、それは一度ばらしちゃうと余計にお金がかかるものですから、それはこの工期延長期間中、足場を組んだままの状態で行っていきたいと考えております。

○野本一幸議長 ごん議員。

○ごん純一議員 ありがとうございます。

もうしっかりと足場絡みはもう潰して、もう後から組立て直しだとかそういうのはないようにしていただきたいと思います。

あと、特に今回の全員協議会で入札不調とか工事延長の原因になっているアスファルト防水材に関してなのですが、設計図書はどうなっているのかちょっとお聞きしたいと思います。建設資材に関してですけれども、防水材とかメーカー指定でがちがちに固めて、その資材がなくなっているから工事できないとかそういうことになっていないか伺います。

こういうのは、例えば同水準の性能品とかあるいは規定の性能を満たせばオーケー出すものではないですか。ここでちょっと思ってしまうのは、もう業者がもうメーカー指定でもう押しつけてきているのか、それともちゃんと代替品でもオーケーになっているのか。あるいはちゃんと市側でメーカー品を業者が勧めてきても、これがないと言われても、いや、この代替品でありますよねというそういう知識とか専門性を持っている市の人材がいるのかどうかお伺いします。

○野本一幸議長 総務部次長。

○中谷博司総務部次長 防水材に限らず建築資材につきましては、特段の理由がない限りメーカー指定は行っておりませんので、その資材がなければほかのものがいいのかという話は常に行っている内容になっております。

また、現場監督の専門性ということではありますと、今回現場監督は財産管理課の営繕系のほうで行っておりまして、都度、いつもそういう現場監督をメインで行っている系のほうで行っておりますので問題ないと考えております。

○野本一幸議長 ごん議員。

○ごん純一議員 ありがとうございます。

特に今回の工事とかで思ったのですけれども、例えばくい打ちや電気設備とか価格変動が大きいもの、アスファルトとか石油由来の製品とかもそうですけれども、もうそれ、あらかじめ市のほうで買って保管して、施工業者に取付けだけお願いするとかそういう方式はとったりはされないのでしょうか。

○野本一幸議長 総務部次長。

○中谷博司総務部次長 物を市のほうで用意しておいて工事するというやり方も考え方としてはあるのかなと思うのですけれども、改修工事であることから、実際現場解体してみて、使わないであったり容量が足りないということも考えられますので、それは現場を進めながら、やはり進めていくのがいいのかなというふうに考えております。

○野本一幸議長 ごん議員。

○ごん純一議員 ありがとうございます。

今回、資材の納期が読めないというのがまた大きな原因だとは思っているのですけれども、今回の工事はしょうがないにしても、今後の工事で余裕期間制度、工期の中に資材の待機時間みたいなものを入れるそういう制度があると思うのですけれども、そういうのを使っていくことは考えていますか。

○野本一幸議長 総務部次長。

○中谷博司総務部次長 現在、具体的に市のほうでそういう対応をとっておりませんけれども、ちょっと今後研究していきたいと思います。

○野本一幸議長 ごん議員。

○ごん純一議員 ありがとうございます。これで最後にします。

今回に限らず入札不調が全国の自治体で相次いでいます。そこで朝霞市もECI工事、アーリーコントラクターインボルブメント工事、設計段階から施工者がもう工事に関わる、コスト管理の面とかすごいよく管理できるということでさいたま市とかでも使われています。そういった工事の方式を取り入れることを考えてはいかがでしょうか。

○野本一幸議長 総務部次長。

○中谷博司総務部次長 ほかの自治体においてそういう方式をとっているということは認識しているのですけれども、今具体的にそういう動きはとっておりませんが、今後検討していきたいと思います。

○野本一幸議長 福川議員。

○福川鷹子議員 ごん議員の質疑に関連があるのですけれども、昨日テレビで、中東情勢の関係で資材がなかなかないと。だけれどもそれに代わるものがあるという、作っているという業者の話があったのです。私どこのどこかというの記録しておかなかったので、ふわっと聞いていたのであれなののですけれども、今おっしゃったように、資材がないならその代用でも構わないのであれば、ちょっと調べていただいて、直ちに工事が進めるような方法に検討することはできるでしょうか。

○野本一幸議長 答弁願います。

総務部次長。

○中谷博司総務部次長 設計において、建築資材につきましてはメーカー指定しておらず、また、仕様の代用品でもいいということで進めております。

○野本一幸議長 福川議員。

○福川鷹子議員 どこの業者かちょっと分からないのですけれども調べていただいて、できれば早く工事を進められるようにやっていただけたらと思って要望しておきます。

○野本一幸議長 田辺議員。

○田辺淳議員 今回、全協は建物系ということで御説明いただいているのだけれども、その中にも中東情勢の部分が、御説明があるので、それ以外の部分で、つまり、都市建設部だとか道路もそうですし、あと、気になるのがよくクーラー、空調設備などでの資材が足りないというような話も聞かれるもので、当然、市の中の様々な空調に関してはしょっちゅういろいろな不備があるので、その不調に対しての対応だとかそこら辺に関しては今の時点でどういう情報をお持ちなのかということと、あと、もう一つは、今回のその物価スライドも含めて工事費が増えていくと、9月補正をするという話がありますけれども、それに関しては基本的に起債でやられるという方向なのか。それがまた、基本的に起債でできるということも含めて、どこまでできるということなのかということを含めてちょっと確認をしておきたい。

○野本一幸議長 副市長。

○宇野康幸副市長 空調の改修については、現時点で地元の業者さんがしっかりと落札していただいていますので、朝霞市において不調であるとか応札がないというような状況はございません。

これは、恐らく、空調も部分的にやっている部分が多いのですよね。現時点は壊れたら、壊れたらやるという言い方もあれですけれども、そういった部分がありますので、これが本当に全面的にエアコンを、例えば空調を全部改修するとかそういったときにはもしかするとそういった状況があるかもしれませんけれども、今の小規模でやっている段階では地域の業者さんがしっかりと応札してやっていただいていますので、その辺は今のところは大丈夫なのかなと思っています。

あと、物価スライドの対応につきましては、国の予算も活用できるような情報もありますので、そういったものを充てていくこともしっかりと検討していきたいというふうに思います。

○野本一幸議長 ほかに質問ありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○野本一幸議長 ほかに質問がなければ、本件については以上で終了します。

---

○野本一幸議長 以上で全員協議会を終了します。

(午前10時57分)